



加貫理事長

## 近畿の印刷産業を支え続けて60年

### 創立60周年記念式典 盛大に挙行

近畿印刷産業機材協同組合(加貫順三理事長)の「創立60周年記念式典」が6月4日、大阪・北区のリーガロイヤルホテルにおいて盛大に挙行され、組合員をはじめ関係諸官庁並びに関係団体役員らおよそ120名が参列のもと、60年の節目を祝い、さらなる業界の隆盛を祈念した。当日は、記念講演会、記念祝典、祝宴の3部構成で進められ、祝典では優良従業員表彰として16名がその栄に浴した。

2010年6月4日 リーガロイヤルホテル

#### 青山繁晴氏が記念講演

記念祝典に先立ち開催された講演会では、関西テレビのニュース番組「アンカー」でも解説者をつとめる(株)独立総合研究所社長兼首席研究員の青山繁晴氏が「日本のほんものの希望」と題して講演。当日は民主党・菅直人氏が第94代首相に就任した日でもあり、講演では青山氏が共同通信社の記者時代から知る菅新首相とのエピソードや政治家としての資質などを中心に、政治と金、北朝鮮による日本人拉致問題、第二次大戦の激戦地である硫黄島における悲劇、さらに沖縄県立第二高等女学校の生徒で結成された白梅学徒看護隊員として戦場で死んでいった生徒達を慰霊する「白梅の塔」など、幅広い分野・事柄に

言及。「問いかける」というスタンスで受講者に「自ら



記念講演会の様子



考える姿勢」を促す形で講演が進められ、「目の前で起こる出来事を自律した視点で捉え直す」ということの重要性を示唆した。

#### 優良従業員16名を表彰

記念祝典は、弓倉清副理事長の開会挨拶で始まった。なお、当日の司会をつとめたのは毎日放送の松井愛アナウンサー。

式辞に立った加貫理事長は、まず多数の参列に感謝の意を述べた上で、大要次のように語った。

「当協同組合は、戦後復興期の昭和24年5月17日に39社が参加して発足した大阪府印刷製本機械工業協同組合を母体としている。幾多の変遷があったが、本日ここに組合創立60周年記念式典開催を迎えた。

まさしく激動の60年。とくにバブル崩壊後は一変した環境に組合運営の見直しと強化が迫られた。当協同組合の先輩諸氏はこれにいち早く対応すべく地区が重複し、事業目的が同じであった西日本印刷製本機械工業協同組合と平成5年4月に合併し、名称も近畿を頭につけた近畿印刷産業機械協同組合と改め組織の強化を図った。

また、とくにこの10年間は、2度の合併と旧所属団体の垣根を取り払うべく融和・交流を図った変革の10年であった。創立50周年の余韻冷めない平成13年12月に近畿印刷機材協議会と合併し、名称を現在の近畿印刷産業機材協同組合と変更、平成15年4月1日には大阪印刷材料同業会と合併し現在の姿になった。そして、平成17年から3年間厚生労働省の指定を受け受給した